



～ モスバーガーのあゆみと『食』への取り組みについて ～

モスバーガーとは

- **社名の由来**
 - ・Mountain(山のように気高く堂々と)と
Ocean(海のように深く、広い心で)と
Sun(太陽のように燃え尽きることのない情熱をもっ
て)の意味を込めた「M」「O」「S」の3つの頭文字。
- **モスバーガーの主なあゆみ**
 - ・1972年、櫻田慧が「米国の美味なハンバーガーを
日本人にも食べてもらいたい」との想いから、
証券会社を脱サラして成増(東京都)で創業
 - ・1985年、店頭公開
 - ・1986年、外食産業として初の47全都道府県へ出店
 - ・1988年、東証2部上場、1996年、東証1部指定替え
 - ・2008年、ダスキンと資本・業務提携
- **モスバーガーが大切にしていること**
 - ・①アフターオーダーシステム(注文後に商品を製造)、
②日本の食文化を表現、③医食同源という考え方、
④ダイレクトコミュニケーション、の4つです。

『食』への取り組み

- **モスライスバーガーの開発**
 - ・農林水産省からの米の活用要請を背景に、
2年かけて開発、初代モスライスバーガーつくね発売
 - ・1987年の発売以来、40種類以上の商品を開発
 - ・1992年、農林水産大臣賞受賞
- **生産者の顔が見える国産生野菜を調達**
 - ・全国約3,000軒*の協力農家から調達
 - ・減農薬・減化学肥料を推進 など *2017年3月末
- **農業生産法人の設立**
 - ・生鮮野菜の安定調達や耕作放棄地の有効活用等を
目的に設立
 - ・2006～2015年にかけて6つの農業生産法人を設立
- **食育活動**
 - ・2005年より「モスバーガー食育プログラム」スタート
 - ・実施校数累計* 652校、38,848名 *2005～2017年7月
 - ・2006年から職場体験施設「キッズニア東京」に出展

店舗・事業展開について

- **国内1,354店舗(2017年7月末現在)**
 - ・北海道53、東北82、関東474、中部257、近畿173、
中国85、四国36、九州・沖縄194の店舗数です。
- **海外341店舗(2017年7月末現在)**
 - ・海外はアジアを中心に、台湾249、シンガポール30、
香港19、中国15、韓国14、タイ6、オーストラリア6、
インドネシア2の店舗を展開中です。
 - ・欧州(フランス、イタリア等)への展開を目指します。
- **レストラン、紅茶専門店も展開**
 - ・旬彩料理レストラン「四季の旬彩料理あえん」7店舗
 - ・ベジタブルレストラン「シェフズバイ」「グリーングリル」
計3店舗
 - ・パスタ専門店「ミア クッチーナ」2店舗
 - ・グルメバーガーレストラン「モスクラシック」1店舗
 - ・紅茶専門店「マザーリーフ」15店舗、
「マザーリーフティースタイル」11店舗を展開

業績／株主還元

- **2017年3月期の業績(連結)**
 - ・売上高 : 70,929百万円 (▲ 0.3%)
 - ・営業利益 : 4,663百万円 (△22.0%)
 - ・経常利益 : 4,892百万円 (△22.0%)
 - ・当期純利益 : 3,050百万円 (△33.5%)

※()の%表示は対前期比
- **安定配当**
 - ・2017年3月期は、1株あたり26円の配当
 - ・2018年3月期は、1株あたり26円の配当を予想
- **株主優待(年2回合計)**

以下、保有株式数に応じてモスバーガーとミスター
ドーナツでの相互利用が可能な株主優待券を進呈

 - ・100株以上 500株未満 : 2,000円
 - ・500株以上1,000株未満 : 10,000円
 - ・1,000株以上 : 20,000円